

事項	小麦のうどんこ病に対する薬剤散布は止葉直下葉での発生直後に1回行うと効果的である														
ねらい	小麦の主要品種「ネバリゴシ」で最も発生の多い病害であるうどんこ病を対象に、薬剤の効果的な散布時期・回数を検討した。その結果、うどんこ病防除薬剤の多くが止葉直下葉での発生直後に1回散布するだけで上位2葉における発生を少なく抑え、この防除効果が得られた場合と生育初期から徹底的に防除した場合とを比べても収量・品質に大差はないことが確認されたので参考に供する。														
指導参考内容	<p>1 止葉直下葉でのうどんこ病の発生直後に薬剤散布を1回行い、上位2葉における発生を少なく抑えるためには、以下の薬剤の散布が効果的である。</p> <table border="1" data-bbox="399 705 1050 936"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>薬剤系統等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トリフミン水和剤</td> <td>DMI (EBI)</td> </tr> <tr> <td>ストロビーフロアブル</td> <td>ストロビルリン系</td> </tr> <tr> <td>アミスター20フロアブル</td> <td>ストロビルリン系</td> </tr> <tr> <td>トップジンM水和剤</td> <td>ベンゾイミダゾール系</td> </tr> <tr> <td>サンヨール</td> <td>有機銅系</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 生育初期からうどんこ病を徹底的に防除しなくても、止葉を含む上位2葉での発生を少なく抑えれば、収量・品質低下に対する影響は小さい。</p>			薬剤名	薬剤系統等	トリフミン水和剤	DMI (EBI)	ストロビーフロアブル	ストロビルリン系	アミスター20フロアブル	ストロビルリン系	トップジンM水和剤	ベンゾイミダゾール系	サンヨール	有機銅系
薬剤名	薬剤系統等														
トリフミン水和剤	DMI (EBI)														
ストロビーフロアブル	ストロビルリン系														
アミスター20フロアブル	ストロビルリン系														
トップジンM水和剤	ベンゾイミダゾール系														
サンヨール	有機銅系														
期待される効果	小麦のうどんこ病の防除効率が高まるとともに被害が軽減され、安定生産に寄与する。														
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成19年3月1日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(http://www.maff.go.jp/nouyaku/)を確認すること。</p> <p>3 うどんこ病に対するアミスター20フロアブルの使用は出穂前までとする。</p> <p>4 赤かび病に対する基本防除（開花始め～開花期に1回と、その7日後に1回の計2回）は、うどんこ病にも有効なので必ず行う。</p> <p>5 平成19年度から県防除指針に採用されるシルバキュアフロアブルは、トリフミン水和剤と同系統の薬剤で、うどんこ病に対する防除効果が同様に高い。</p> <p>6 各薬剤の使用上の留意事項を遵守する。</p>														
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センター 病害虫防除室 (岩間俊太、近藤伸子)	対象地域	県下全域												
発表文献等	平成14年度 青森県農業試験場試験成績概要集 平成15～18年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集														

【根拠となった主要な試験結果】

表1 小麦のうどんこ病に対する薬剤散布時期・回数別の防除効果 (平成14年 青森農試)

区	各葉位での発生直後を狙った散布日			止葉を含む上位2葉の病斑面積率 (%)				防除価
	止葉-2 5月1日	止葉直下 5月15日	止葉 5月29日	5月2日	5月14日 (出穂期-1日)	5月29日 (開花期+10日)	6月12日	6月12日
1	○			0	0	0.03	0.03	98.0
2		○		—	0.11	0.08	0.08	94.7
3			○	—	—	0.50	0.48	68.2
4	○	○		0	0	0	0.01	99.3
5		○	○	—	0.05	0.15	0.14	90.7
6	○		○	0	0	0.01	0.03	98.0
7	無散布			0(区外発生)	0.16	0.67	1.51	—

(注) 試験場所: 青森農試北部圃場 品種: ネバリゴシ (表1~5共通) 播種日: 平成13年9月26日
供試薬剤: アミスター20フロアブル (2,000倍) 発生状況: 少発生

表2 小麦のうどんこ病に対する数種薬剤の1回散布による防除効果 (平成15年 青森農林総研)

供試薬剤・希釈倍数	止葉を含む上位2葉の病斑面積率 (%)					防除価	
	5月16日	5月22日 (出穂期-2日)	5月29日 (開花期-1日)	6月5日 (開花期+8日)	6月11日	6月11日	
トリフミン水和剤 1,000倍	0.03	0.06	0.20	0.25	0.54	97.4	
ストロビーフロアブル 2,000倍	0.03	0.03	0.03	0.08	0.12	99.4	
アミスター20フロアブル 2,000倍	0.01	0.01	0.02	0.03	0.05	99.8	
トップジンM水和剤 2,000倍	0.02	0.04	0.22	0.52	0.86	95.9	
サンヨール 500倍	0.02	0.02	0.07	0.47	1.51	92.8	
対照) イオウフロアブル 400倍	0.03	0.10	0.63	1.49	2.70	87.1	
対照) カリグリーン 500倍	0.03	0.33	1.39	3.67	7.09	66.0	
無散布	—	0.05	1.05	3.84	10.31	20.85	—

(注) 試験場所: 青森農林総研境松北部圃場 (表2~4共通) 播種日: 平成14年9月27日
散布日: 平成15年5月15日 (止葉直下葉での発生直後) 発生状況: 多発生

表3 小麦のうどんこ病の発生と収量・品質① (平成16年9月28日播種) (平成17年 青森農林総研)

区名	止葉を含む上位2葉の病斑面積率 (%)					防除価	粒厚2.4mm以上でみた	
	5/27 (出穂期+2日)	6/2 (開花期)	6/9 (開花期)	6/15 (開花期+6日)	6/22	6/22	子実重の徹底 防除区対比 (%)	検査等級 (サンプル数)
徹底防除	0	0.01	0	0.01	0	100	100	1中(2)、1下(2)
トリフミン水和剤	0	0	0.09	0.05	0.24	97.7	97	1下(4)
対照) イオウフロアブル	0.01	0.02	0.27	1.30	2.83	72.3	91	1下(1)、2上(3)
無散布	0.02	0.70	3.20	4.96	10.22	—	90	1下(1)、2上(3)

(注) 散布日: 徹底防除区では平成17年5月11日、22日、6月4日 (生育初期から防除効果の高い薬剤を散布)、その他は5月26日 (止葉直下葉での発生直後)。発生状況: 中発生 収穫日: 7月16日

表4 小麦のうどんこ病の発生と収量・品質② (平成17年9月27日播種) (平成18年 青森農林総研)

区名	止葉を含む上位2葉の病斑面積率 (%)				防除価	粒厚2.4mm以上でみた	
	5/25 (出穂期+1日)	6/1 (開花期)	6/8 (開花期-7日)	6/14	6/14	子実重の徹底 防除区対比 (%)	検査等級 (サンプル数)
徹底防除	0	0	0	0	100	100	2下(1:A区)
トリフミン水和剤	0.02	0.02	0.02	0.06	98.8	99	2下(1:A区)
対照) イオウフロアブル	0.06	0.15	0.90	1.73	66.4	97	2中(1:A区)
無散布	0.06	0.51	2.28	5.15	—	92	2中(1:A区)

(注) 散布日: 徹底防除区では平成18年4月29日、5月6日、14日、22日、31日、6月9日 (生育初期から防除効果の高い薬剤を散布)、その他は5月25日 (止葉直下葉での発生直後)。発生状況: 中発生 収穫日: 7月11日

表5 小麦のうどんこ病の発生と収量・品質③ (平成17年9月15日播種) (平成18年 青森農林総研)

区名	止葉を含む上位2葉の病斑面積率 (%)					防除価	粒厚2.4mm以上でみた	
	5/17 (出穂期+2日)	5/24 (開花期-1日)	5/31 (開花期-7日)	6/8	6/14	6/14	子実重の徹底 防除区対比 (%)	検査等級 (サンプル数)
徹底防除	0	0	0	0	0	100	100	1(1:ABC区混和)
トリフミン水和剤	0.02	0.02	0.03	0.13	0.33	96.1	99	1(1:ABC区混和)
無散布	0.05	0.36	1.95	4.87	8.47	—	92	2(1:ABC区混和)

(注) 試験場所: 青森農林総研境松東部圃場 散布日: 徹底防除区では平成18年4月11日、29日、5月6日、14日、22日、31日、6月9日 (生育初期から防除効果の高い薬剤を散布)、トリフミン水和剤区では5月17日 (止葉直下葉での発生直後)。発生状況: 中発生 収穫日: 7月11日